

環境啓発とコミュニケーション

環境行動に係るマネジメントを実施し、社員に対する環境啓発研修などの実施を通じて、環境に高い配慮ができる人材育成と社員の環境行動意識の向上に取り組んでいます。また、阪神高速ホームページやSNS、環境イベントなどを通じて環境情報を積極的に発信し、ステークホルダーとのコミュニケーションを図っています。

環境マネジメントの推進

環境行動計画に基づく施策を全社横断的に推進していくため、サステナビリティ推進委員会の下部組織として「環境行動推進委員会」を設置しています。2024年度は2回開催し、環境行動計画の改定などを議論しました。このほかにも、外部専門家による助言などを踏まえた継続的改善や社員研修などを通じ、社員一人ひとりの環境に関する意識の向上に取り組んでいます。

📖 P.15：推進体制図



社員研修

環境イベントなどを通じた積極的な情報発信

阪神高速道路(株)では、阪神高速グループにおける環境への取り組みを広くご理解いただけるよう、イベント開催時に「使用済み横断幕を用いたポシェットづくり体験」などを実施しています。2024年度は計5回開催し、600名以上のお客さまに参加いただきました。また、「使用済み横断幕」を無償で提供し有効活用いただく取り組みも実施しており、2024年度はワークショップへの参加などをきっかけに計3団体に提供し、校内イベントや卒業制作に活用いただきました。



ワークショップ参加者によるポシェットづくり

PICK
UP

横断幕再生プロジェクト

阪神高速道路(株)では、産業廃棄物として処分されていた使用済み横断幕をリサイクルするプロジェクト『Re:loop 阪神高速』を実施しています。

詳しくはコチラ



VOICE

脱炭素・循環型社会の実現に向けて

2022年4月、阪神高速道路初の木造PAとして泉大津大型専用PAが完成しました。木材自体が循環型資材ですが、本PAでは地域産材や未利用材を積極的に活用することでさらなる環境負荷低減にも取り組みました。日々の事業活動において環境配慮の視点を持って取り組むことが重要と考え、これからも木材の積極的な活用を行うとともに、環境にやさしい建築物のZEB(Net Zero Energy Building)化を目指し、断熱性能を高め、効率的なエネルギー消費や太陽光発電による創エネなど、さらなる脱炭素・循環型社会の実現に向け確実に歩んでいきます。



阪神高速道路株式会社
管理本部神戸管理・保全部施設工事課
課長代理
寺村 省吾